ヒストリックカーミーティング イン 伊勢・志摩

HISTORIC CAR MEETING

伊勢・志摩の美しい風景の中を疾走する贅沢なオトナのクラシックカーラリーレース

2010年12月4～5日／三重県伊勢市・志摩市周辺

撮影＝早川俊昭
photographed by HAYAKAWA TOSHIAKI

80年までに製造された国内外のクラシックスポーツカーで行われるヒストリックカーミーティングが12月4～5日に行われた。前回は伊良湖港と鳥羽港を結ぶ伊勢湾フェリー廃止の気運が高まる中、存続を願い、蒲郡から伊良湖フェリーターミナルを経由する渥美半島のコースを回った。その甲斐もあってか伊勢湾フェリーの運営続行が決定。2回目となる今回は廃止中止の喜びの意味を含め、フェリー発着の対岸である鳥羽港を経由する伊勢・志摩コースでの開催となった。

タイムラリーレースの形式を取るが主催者のはからいでゆとりあるスケジュールになっていたため、参加者は途中で記念撮影したり、地元海産物の食べ歩きをしたりできる。

これは事務局長の天野正治氏による「競技性を維持しつつ、アットホームな車旅」がコンセプトとなっているため。

走行距離も短く設定されており、夕方には1日目の宿泊先であるホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩にチェックイン。夕日を眺めながら露天風呂に入り、地元の豪華な食事、そして一足早いクリスマスパーティを楽しんだ。

夫婦での参加者が多く、女性にも喜んでもらうためのサプライズが用意された。初日には女性参加者全員に伊勢志摩にちなんだパールのネックレスが、2日目には花のプレゼントがあった。

豪華な時間を参加者全員が堪能できる夢のような2日間を過ごした。

54B スカイライン、ホンダ S800、ポルシェ 356、ヨタハチなど豪華なイベントにふさわしい国内、海外の名車が参加。

イベント当日は雲ひとつない快晴。最高のドライビング日和となった。

67年式プリンススカイライン 2000GT-B
オーバーホール済みエンジンで栃木県からトラブルなく630kmを自走してきたT・Tさん。ほかにもSRやコスモスポーツも所有している。

上はチェックポイントごとにわけて使用するストップウオッチ。タイムラリーであることを実感させる。下は72年式日産サニーエクセレント1400GX。

69年式トヨタスポーツ800
稲垣隆夫さんのナビで奥さまの和子さんがドライビングする後期型ヨタハチ。

67年式ホンダ S800
山梨県御坂より自走で参加した古屋正義さん。奥さまの美栄子さんと参加。

68年式トヨタ 2000GT
絶版車ディーラービンテージカーヨシノ社長の芳野正明さんの前期型2000GTは、フェンダーミラー横のフォグランプが特徴。

68年式フェラーリディノ 206GT
ドライバーはレストア専門工房オールドボーイ社長の前田道夫さん、ナビゲーターは鈴木丈士さん。

スタート、ゴールのフラッグを明るい笑顔とともに振るのはイベントのイメージガールである加藤里奈さん。